



NHK-FM「名曲のたのしみ」が書籍化！  
**「名曲のたのしみ、吉田秀和」** 全5巻  
吉田秀和／西川彰一（編）

日本の音楽評論の第一人者としてクラシック音楽界に大きな足跡を残した吉田秀和さんの逝去から1年。1971年の放送開始から40年以上にわたって吉田さんがパーソナリティをつとめてきたNHK-FM「名曲のたのしみ」が書籍化されました。2000回におよぶ解説の中から、毎月最終週に放送された「私の試聴室」を中心にセレクトし、ジャンル別の全5巻で構成。各巻には放送音源の抜粋を収録したCDが付きます。書籍のタイトルは、吉田さんによる番組のタイトルコール「名曲のたのしみ、吉田秀和」からとったものです。



NAXOS JAPAN  
WEBにて  
大好評連載中  
[http://naxos.ip/special/no\\_unmei](http://naxos.ip/special/no_unmei)

さらに使いやすく。もっと、わかりやすく。

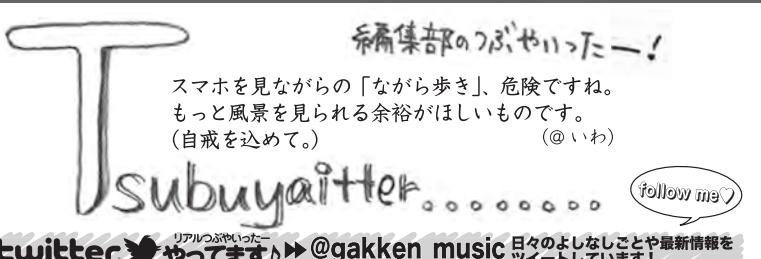
# 新版 子どものソナチネ 全2巻

こんな「ソナチネ」が欲しかった!——  
大きく見やすい楽譜はそのまま、ビジュアル  
小学生のための、使いやすさを徹底的に追



登壳中

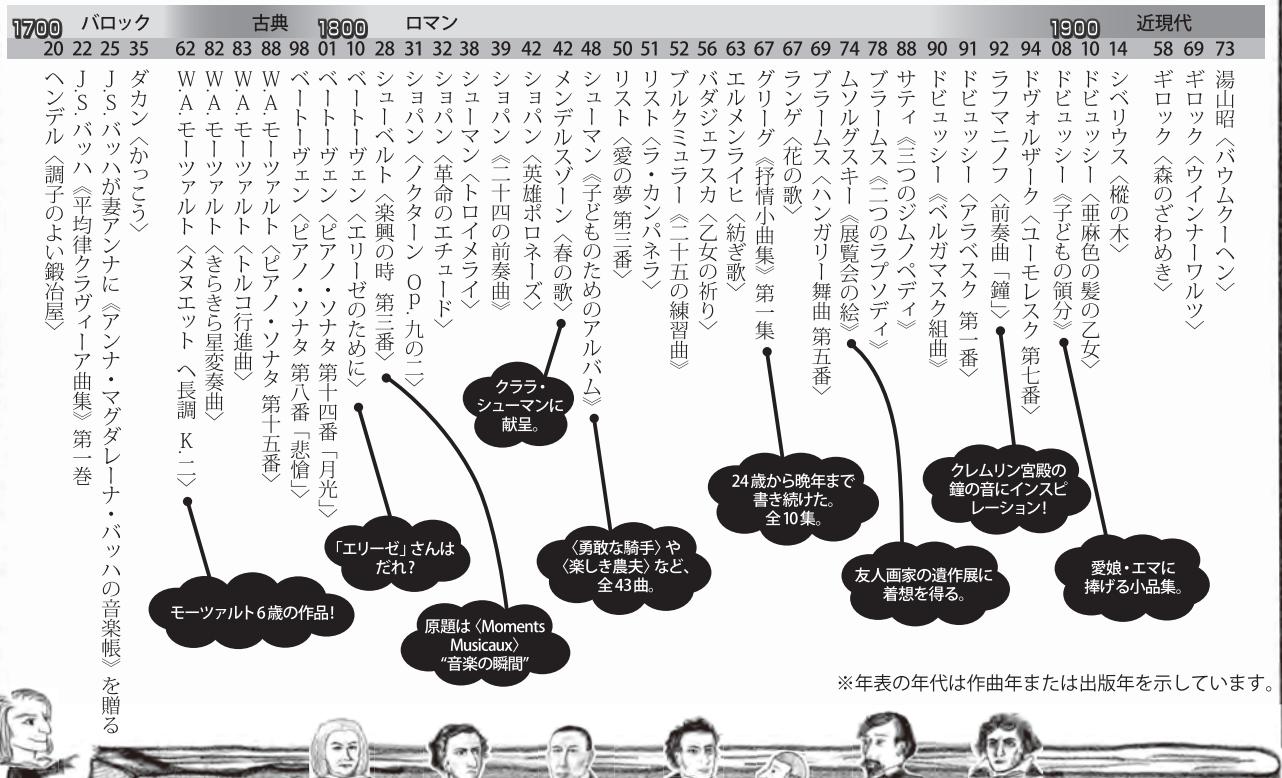
■各：菊倍判／72頁／本体価格1,200円(税別)



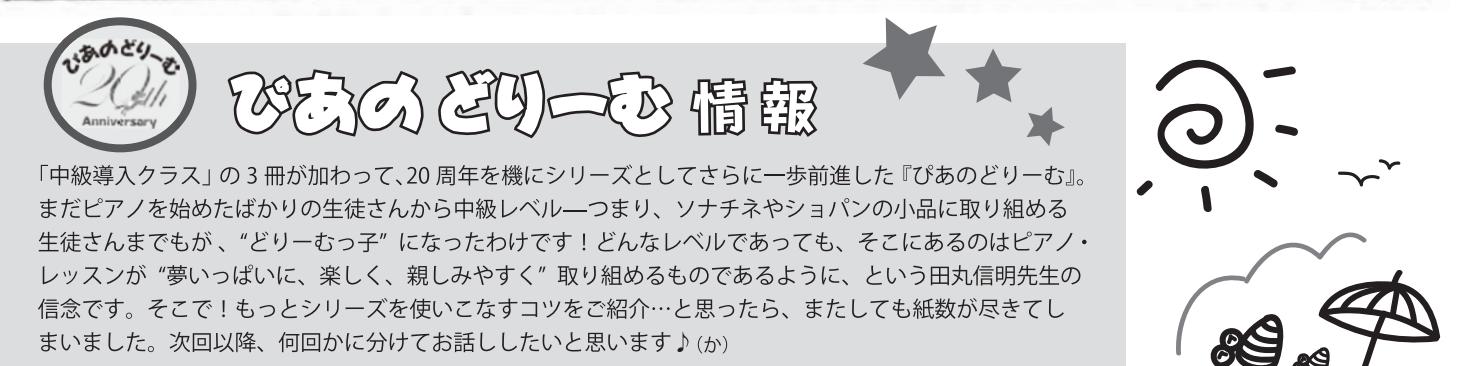
夕暮れ時に神社の境内を歩いていると、ふんわりとジャスミンのような甘い香りがしました。引き寄せられるようにその匂いをたどっていくと、灯籠の脇に可愛らしい白い花が咲いていました。クチナシの花でした。ジャズ歌手のビリー・ホリディが愛した花ですね。花言葉は「とても幸せ」(さ)

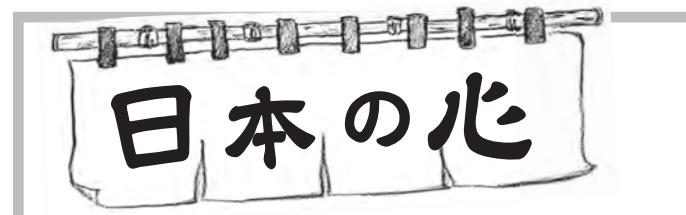
# 時代を知る～番外編～

今回は、『時代を知る！』の番外編と題し、数々のピアノ名曲が誕生したバロックから近現代までの約250年間で、編集部が独断と偏見（！？）で選んだ30曲が誕生した年に注目してみました。お好きな曲はありましたか？



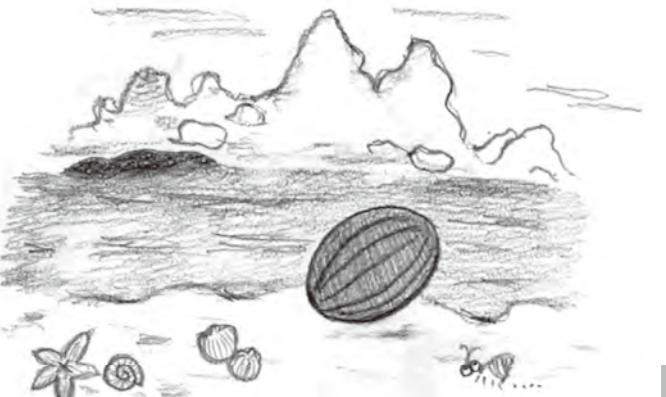
※年表の年代は作曲年または出版年を示しています。





## 椰子の実

名も知らぬ 遠き島より  
流れ寄る 椰子の実ひとつ



「椰子の実」は、島崎藤村が『海草』という詩の一篇として明治33年（1900年）に発表したもので、翌年、詩集『落梅集』のなかにおさめました。詩の舞台は愛知県の渥美半島の先端、伊良湖岬にある恋路ヶ浜。藤村は一度もここを訪れたことがなかったにもかかわらず、親友の話をきっかけにこの詩を書いたのだそうです。その親友とは、民俗学者の柳田国夫。

柳田は大学在学中に、夏の2ヶ月間を伊良湖岬で過ごしました。ある日恋路ヶ浜を散歩していた柳田は、浜に打ち上げられた椰子の実をみつけます。その実を拾い上げ、はるか彼方から浜辺に流れついたことに驚き、また、実の故郷に思いを馳せます。東京に帰って、この体験を藤村に話したと、柳田本人が述べています。

作曲は大中寅二。昭和11年7月にラジオ番組「国民歌謡」の放送で、当時人気歌手だった東海林太郎が歌い、大ヒット曲となりました。

渥美町観光協会（田原市観光協会）は、沖縄の石垣島を「遠き島」と見立てて、椰子の実が伊良湖岬に流れ着くようにと願いを込めながら、昭和63年（1988年）から毎年100個ずつの実を投流するツアーを行っているそうです。平成13年（2001年）、はじめて1個の実が漂着したという話は有名です。（く）

渥美半島だより（田原市観光ガイド）～やしの実投流 <http://www.taharakankou.gr.jp/event/000010.html>

♪ フェレンツ・フリッチャイ  
(ハンガリー／指揮者／1914.8.9生)  
●ドイツやアメリカで活躍した指揮者

♪ アントニオ・サリエリ  
(イタリア／作曲家／1750.8.18生)  
●ウィーンの宮廷作曲家・宮廷劇場指揮者として活躍

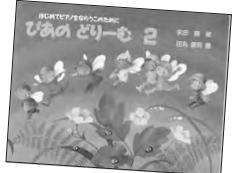
♪ ジョルジュ・エネスコ  
(ルーマニア／ヴァイオリニスト、作曲家／1881.8.19生)  
●20世紀のルーマニアを代表するヴァイオリニスト、作曲家

♪ チャーリー・パークー  
(アメリカ／ジャズ・サックス奏者／1920.8.29生)  
●モダン・ジャズの基盤「ビバップ」の創始者

WEBで詳しく紹介しています♪

## 編集部チョイスおすすめの1曲

### イルカのジャンプ (田丸信明)



レベル:★★☆☆☆  
掲載楽譜→ぴあのどりーむ2

4小節の短い曲の中で、2・4小節目を両手で弾きます。  
イルカがジャンプをしているのは、両手のところかな?  
両手演奏の導入におすすめです。

## 移調楽器の豆知識

移調楽器とは、楽譜に書かれている音（=記譜音）と、演奏した時に実際に聴こえる音（=実音）の高さが異なる楽器の総称です。管楽器のほとんどは移調楽器で、管の長さによって調が変化します。その昔、キーがほとんど付いていない頃の木管楽器や、バルブが発明される以前の金管楽器は、物理的な理由から現在のように音程を自由に上下させることができず、ある一定の音や調しか鳴らすことができませんでした。そのため、音楽の調性が変化するたびに（曲中でも！）、管の長さの違う同じ楽器を持ち替えて、演奏の中で使い分ける必要があった…というわけなのです。

### バジル先生のすぐできる! アレクサンダー・テクニーク

#### 肩こりエクササイズ ~その1~



##### 「頭」の重さをイメージする

①頭は実は5キロ以上の重さがあります。とても重いものを背骨の一番上で動かしていると意識し、優しく頭を動かして、上下左右を見渡してみましょう。

②頭は目より上、耳より上がその大きさの大半です（頭はアゴがそのほとんどを占めます）。目より上、耳より上の頭の部分に軽く触れて撫でてみましょう。すると、実感として頭の場所や大きさを感じられます。

③頭は、耳たぶのすぐ裏側にある骨の辺りで、背骨の上に乗っています。思ったより高く、真ん中ではありませんか？両方の耳たぶの裏側に人差し指で触れ、そこから自分の頭に両手の指で軽く触れながら「ここに頭が乗っている」と意識しながら優しく頭を上下左右に動かします。以上のような、

「頭のイメージ」を作り、「優しく何度も深呼吸」「立ち座り、歩く」ことをしてみると……きっと身体に変化が出てくるはず。これが肩こりサヨナラの第一歩なのです。

アレクサンダー・テクニーク教師／バジル・クリッツァー

♪ 8月22日はドビュッシーのお誕生日!  
(1862~1918)



クロード・ドビュッシーの晩年は第一次世界大戦とほぼ重なっています。

1914年、オーストリアの皇太子が暗殺されたのをきっかけに、7月28日オーストリアがセルビアに宣戦布告。ドイツ、フランス、ロシアとまたたく間に戦局は多方面に拡大。オーストリアとドイツを中心とする同盟国側とロシア、フランス、イギリスの連合国側とのかつてない大戦争へと発展します。ナショナリズムが煮詰まって発火する戦火の時代の幕開けです。そのナショナリズムの母体となるものは、他方でその風土に根ざした様々な文化を生みだしてきました。オーストリアやドイツにそれぞれ固有の音楽があり、フランスにはフランス独自の音楽があるようです。

ドビュッシーは、戦争のもたらす暗い影と祖国の惨禍に、自身の病気や家族の不幸も加わり、やりきれない暗澹たる精神に閉ざされたようになってしまったといいます。そんな中、最晩年の傑作群が誕生します。2台ピアノのための「白と黒で」、ショパンに捧げられた「12の練習曲」、そして楽器の組合せの異なる3曲のソナタ。このソナタは、当初の計画では6曲のセットであったのですが、なぐくドビュッシーを苦しめた病（直腸がん）がそれを3曲で途絶させることになりました。

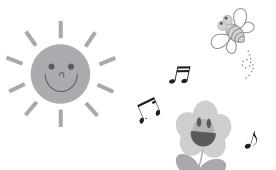
1曲目はクロロピアノ、2曲目はフルート、ヴィオラ、ハープの3重奏、3曲目は絶筆となったヴァイオリンとピアノのためのソナタです。楽譜には「フランスの音楽家クロード・ドビュッシー作曲の～」と記されている3曲のソナタは、無論ウィーン古典派以来のドイツ音楽伝統のソナタ形式とは無縁ですが、さりとてこれがフランスの美の典型とも思えない、謎のような品と美しさを湛えています。かつてのドビュッシーの音楽にあった豊饒な響きや色彩感は遠のき、余分なものを削ぎ落としながら、音楽的実質は痩せ細ってはいません。音楽は休みない風のように緩急自在にふき流れてとどまる事をしません。そして、それはフランスという固有の風土が育んだ美のかたちにちがいないのです。

「私にできることは、作曲しかないのだ。だから私は、ただひたすら、曲を書き続ける。明日の朝にも死ぬかもしれないと思いながら（＊）」とドビュッシーは述べたといいます。1918年3月、まだドイツ軍の砲撃のやまないパリでドビュッシーは55年余りの生涯を閉じます。第一次世界大戦が終結したのはその年の11月のことでした。（え）

\*ポール・クロスリーのCDドビュッシー「ピアノ独奏曲全集」第3巻の付属冊子所載の「演奏者によるノート」（原明美訳）からの引用。

## 今月のあかね先生

丸子あかね先生の「導入教材シリーズ」は、ピアノを弾く前の導入期に“きちんと楽譜を読む力”を養うことで、譜読みについていけずにピアノをやめてしまう生徒さんをなくし、一人でも多くの生徒さんに楽しみながらピアノを続けてもらえるよう教材を開発してきました。譜読みのストレスをなくすことができれば、ピアノを演奏することに余裕ができます。つまり、自分の弾いた音、演奏の音自体に集中することができるようになります。



先日完成した『はじめてのテクニック ピアノのほん』は、読譜力を身につけた生徒さんたちが、自分が弾く音に集中しながら、どのように鍵盤に触れると、どのような音を出すことができるのか、そんな演奏の技術、方法を身につけていく教材です。

テキストの巻末には、「あかねピアノ教室」（あかね先生が主宰している教室です）で実践している指導方法をカラーの図解付きで掲載しました。レッスン方法のヒントにしていただければと願っています。

この内容の一部を盛り込んだ冊子「ピアノのほん 指導者向けガイド」を制作しました！全国の楽器店、一部の書店で無料配布しています。ぜひお気軽にお持ち帰りください♪（いも）

## ピアノのほん 指導者向けガイド

無料配布中!!



教材の一部を  
ご紹介しています。

練習曲

子どもたちが  
集中して取り組めるように4小  
節の短い曲で構成しています。

タイトル付きの曲

タイトルやイラストから曲のイメージを  
ふくらませて、音楽の楽しさを体感する  
ことができます。

★指導のポイントを  
動画でご紹介しています★

学研 おんぐく

検索

## つむりの練習手帳

今週、つむりのピアノのレッスンはお休みでした。そうしたら、やっぱりつむりは調子に乗って、先週のレッスンの次の日から毎日毎日お友達と遊び歩いて、あげくのはてに疲れて熱をだしちゃった。学校も休んじゃったから、もちろんピアノの練習もしません。昨日、ひさしぶりに練習してたけど、めちゃめちゃよたよたしてました。このまんまじゅ先生にあきられるだらうなあ。（トホホお兄）

### つむり現在の楽譜

- ☆子どものハノン①
- ☆子どものバイエル⑨
- ☆プレ・インヴェンション
- ☆ぴあのどりーむ  
ブルクミュラー25の練習曲

## はじめてのテクニック ピアノのほん ①

好評  
発売中!!

編著:丸子あかね  
作曲:轟千尋 ほか  
絵:尾田瑞季

